



2002年7月19日 第2002-58号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : syakai@jam-union.or.jp

連合・健保法改悪阻止7.18院内集会開催

参院・厚生労働委員会で参考人質疑

7月16日参議院厚生労働委員会で、参考人質疑が行われ、連合、退職者連合、日本医師会などの参考人6名が出席し、意見陳述を行いました。

連合・草野事務局長は、「今回の改正は単なる患者や国民への大幅負担増による当面の保険財政対策でしかない。抜本改革を先送りし、負担増を繰り返せば、社会保障全体の空洞化を招くことになる。連合は、抜本改革が実施されないままでの改正には絶対に反対である。」と、廃案を求める意見を強く述べました。また、参考人6名のうち4名がこの法案には反対で、日本医師会も断固反対と表明しました。

25日、最大の山場か・・・

宮路副大臣の「口利き」問題をめぐり、17日午前中から厚生労働委員会・理事懇談会が断続的に開催され、協議を行いました。野党側は宮路副大臣と帝京大沖永総長の2名を参考人招致して真相究明を求めていましたが、与党側が拒否しました。その後、沖永総長のみを参考人質疑を23日に行うことを民主党が了承し審議が再開されました。しかし23日午前中の参考人質疑

には、沖永総長が病気理由のため診断書を提出し出席せず、代わりに帝京大特別調査委員会事務局長が出席することになりました。これにより、現時点では25日が委員会審議の最大の山場になることが予想されます。

今国会で絶対に廃案に！！

連合・院内集会開催

7月18日、衆議院第2議員会館会議室で、連合・健保法改悪阻止7.18院内集会が開催され、構成組織、民主党をはじめとする野党4党の国会議員など約200名が参加しました。

各政党の決意表明で民主党・菅幹事長は「健保法審議は最後の正念場、宮路問題は単に1つの不祥事でなく、医者になるにはお金がかかるから医療費を上げる、裏口入学を保険で負担するという構造。負担のみを強いる法案は絶対に認められない。野党は廃案を求める点では一致しており、全力を尽くしたい。」と述べました。

構成組織からは、JAMとゼンセン同盟の代表が激励挨拶を行い、審議の山場に向け各政党にエールを送りました。

